サポ楽　点検調書作成サービス

「Mapry 橋梁」を利用した施設点検マニュアル

－　別冊：3D スマートフォンアプリ「Mapry 橋梁」連携編　－

株式会社ベイシスコンサルティング

サポ楽事務局

2026 年 11 月版

目次

1. はじめに（全体の流れ）..... 2
2. サポ楽「SIMPL-s」サイトへログインする 3
3. Mapry 橋梁（iPhone アプリ）へ施設データを登録する 4
4. 「mapry GIS」へデータを入力する 6
5. 「mapry 橋梁」アプリで点検現場データを取得する 9
6. サポ楽「点検調書作成サービス」へデータを転送する 12
7. サポ楽「点検診断調書作成機能」で調書をまとめる 13
8. 参考：スマートフォン内データの保存・共有方法 16
9. お問い合わせ..... 19

1. はじめに（全体の流れ）

本書は、「サポ楽　施設台帳管理＋点検調書作成サービス（橋梁編）簡易操作マニュアル」の別冊として、3D スマートフォンアプリ「Mapry 橋梁」と「サポ楽」を連携させて点検診断調書を作成する一連の手順をまとめたものです。

Mapry 橋梁と組み合わせることで、現地で取得した 3D 点検データ・写真を「mapry GIS」を経由してサポ楽の管理台帳・調書作成機能へ取り込み、法定様式（77 条様式）の調書として仕上げることができます。全体の流れは次のとおりです。

- ① サポ楽「SIMPL-s」にログインし、対象データを準備する
- ② SIMPL-s から mapry 連携用データ（json 形式）を出力する
- ③ 出力データを「mapry GIS」に取り込む
- ④ 「mapry 橋梁」アプリで点検現場の 3D データ・写真を取得する
- ⑤ 取得したデータを「mapry GIS」からサポ楽「管理台帳機能」へ戻す
- ⑥ サポ楽「点検診断調書作成機能」で写真を貼り込み、調書を完成させる

※ 本編（橋梁編）マニュアルであつかう「地図検索」「施設台帳」「諸元編集」「調書作成」の各画面については、そちらをあわせてご参照ください。

2. サポ楽「SIMPL-s」サイトへログインする

サポ楽「SIMPL-s」のログイン画面にアクセスし、ID・Password を入力してログインします。

- ① サポ楽「SIMPL-s」ログイン画面（https://www.～）にアクセスする
- ② ID を入力する
- ③ Password を入力する
- ④ 「ログイン」をクリックする

※ ID・Password は、別紙にてお知らせしています。

3. Mapry 橋梁（iPhone アプリ）へ施設データを登録する

現地で Mapry 橋梁アプリを使って 3D スキャン・写真撮影を行う前に、対象橋梁の施設データを「調書作成一覧」画面から Mapry 連携用データとして書き出し、Mapry 橋梁アプリに取り込みます。

3.1　橋梁を選択してデータ出力を有効にする

① 「調書作成」タブを開き、左の検索ペインで「構造物グループ」を選択します。

② 一覧に表示された橋梁のうち、Mapry 橋梁アプリに登録したい橋梁のチェックボックスにチェックを入れます。

③ 1 件以上選択すると、画面右下の「データ出力」ボタンが有効になります。

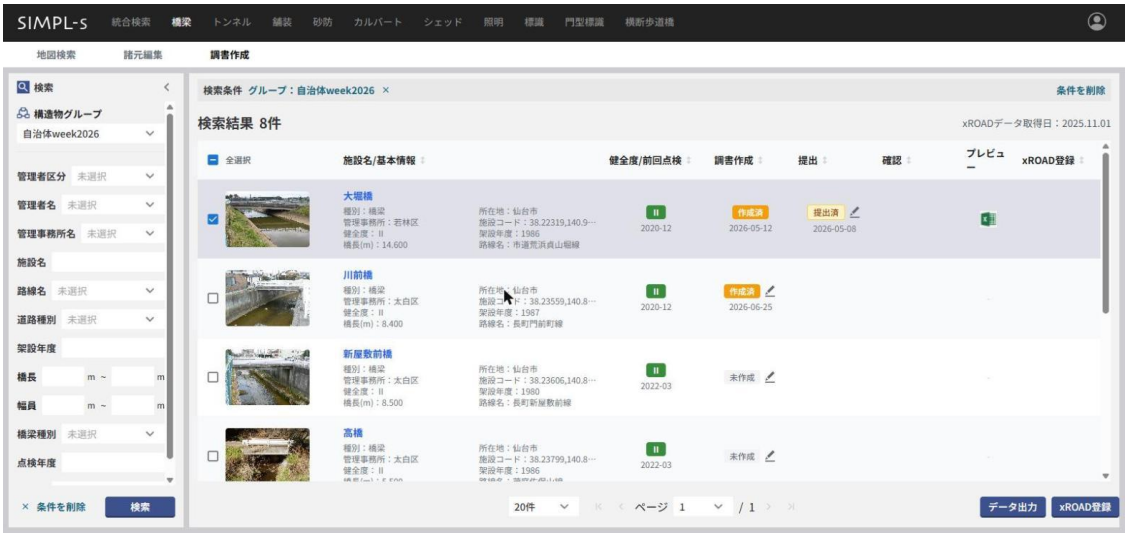


図 *1*　調書作成一覧画面：橋梁を選択し「データ出力」ボタンが有効になった状態

※ 構造物グループの追加方法は、「サポ楽　施設台帳管理＋点検調書作成サービス（橋梁編）簡易操作マニュアル」をご覧ください。

※ 複数の橋梁を同時に選択して、まとめてデータ出力することも可能です。

3.2　データ出力ダイアログを開く

「データ出力」ボタンをクリックすると、「データ出力」ダイアログが表示されます。選択中の件数が上部に表示され、出力するデータの種類（点検診断調書の Excel ファイル／Mapry 連携用データ）を選択します。



図 2　データ出力ダイアログ

※ 調書のステータスによっては「前回点検」「提出済」「確認済」の一部が選択できない（グレーアウトする）場合があります。

3.3　Mapry 連携用データを出力してダウンロード

「Mapry 連携用データを出力」のラジオボタンを選択すると、「ダウンロード」ボタンが有効になります。クリックすると、選択した橋梁の施設データがファイルとしてダウンロードされます。



図 3　「*Mapry* 連携用データを出力」を選択し「ダウンロード」ボタンが有効になった状態

※ ダウンロードしたファイルを Mapry 橋梁アプリへ取り込む手順は、Mapry 橋梁アプリ側のマニュアルをご参照ください。

4. 「mapry GIS」へデータを入力する

ダウンロードした json データを「mapry GIS」に取り込みます。

4.1 「mapry GIS」の立ち上げ

アクセス先：https://mapry.co.jp/gis　iPhone 側の Mapry 橋梁アプリと同じ ID、PASS を入力してログインします。

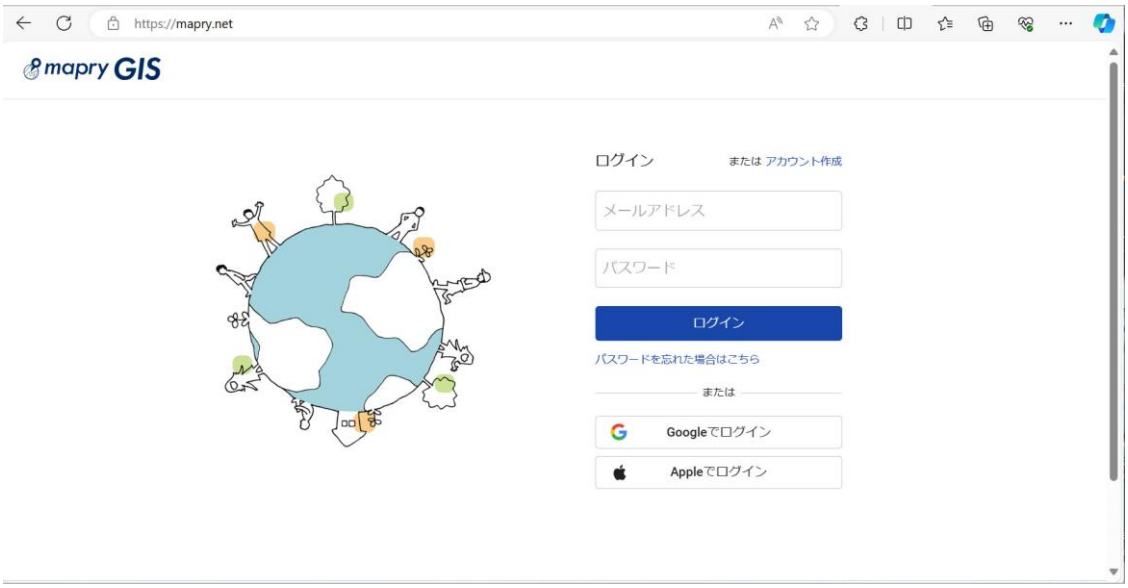


図 4　「mapry GIS」のログイン画面

4.2 データ入力の準備

①「インポート」ボタンをクリックします。②表示されたボタンから「サービス連携」を選択します。



図 5　「インポート」から「サービス連携」を選択

4.3　データの選択

①インポートするデータを選択します。

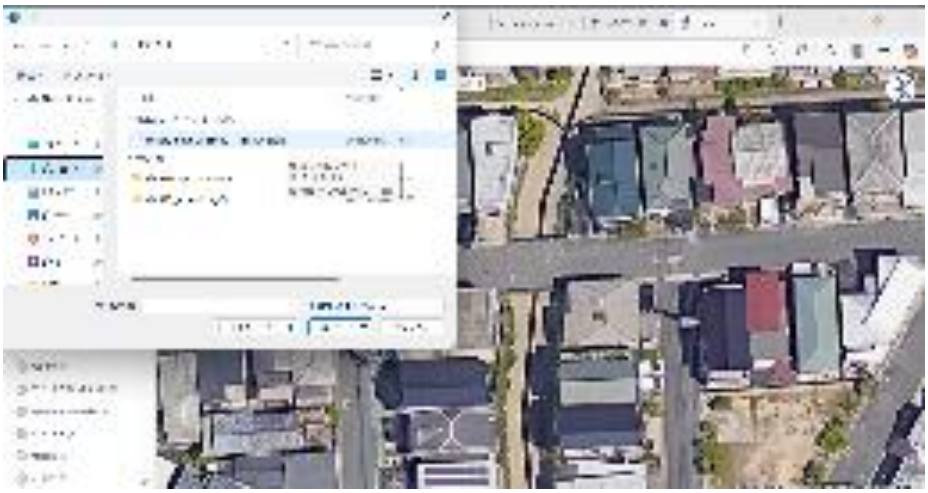


図 6　インポートするデータの選択

②確認画面が出るので「OK」をクリックします。



図 7　確認画面（「OK」をクリック）

4.4　入力されたデータの確認

データが入力され、グループ欄に表示されます。「ポイント」も作成されています。



図 *8*　入力されたデータの確認画面

※ iPhone 側の Mapry 橋梁アプリでも同じデータを見ることができます。

5. 「mapry 橋梁」アプリで点検現場データを取得する

過年度点検データを参考にしながら、点検現場の 3D データと写真を取得します。

5.1　点検現場データ取得



図 9　点検現場での 3D スキャン・写真撮影の様子

5.2　取得データをクラウドへ UP

あらかじめ設定しておいた”ポイント”（クラウド）に取得したデータを UP します。



①保存先ポイントをタップ



②「*OK*」をタップして *UP*

※ データ UP の詳細は「8. 参考：スマートフォン内データの保存・共有方法」をご覧ください。

5.3 PC 上でデータ確認

クラウド上に保存したデータを、PC のブラウザ上で「mapryGIS」を使って確認します。

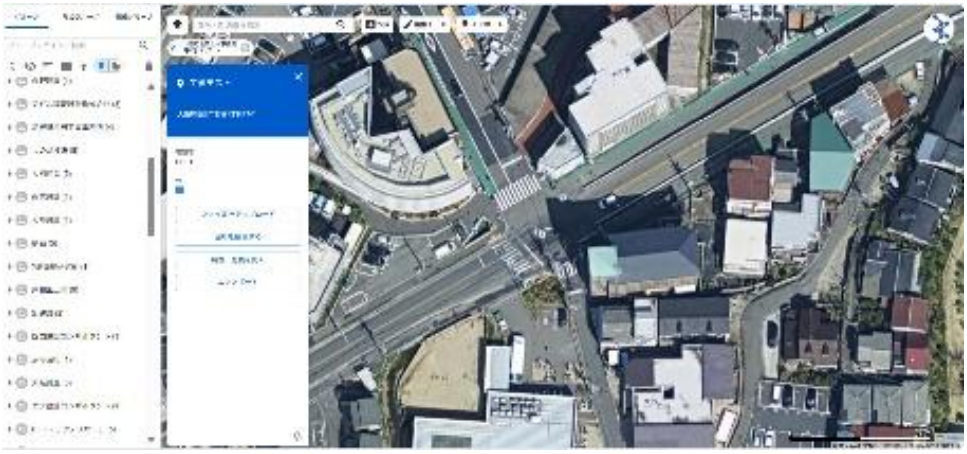


図 *10* 「*mapry GIS*」上でのデータ確認画面



図 *11*　*3D* スキャンデータのプレビュー

6. サポ楽「点検調書作成サービス」へデータを転送する

「mapry GIS」で取得したデータを、サポ楽「点検調書作成サービス」へ転送します。

6.1　データ選択

「mapry GIS」内のデータ画面から転送したいデータを表示させ、「エクスポート」を選択します。

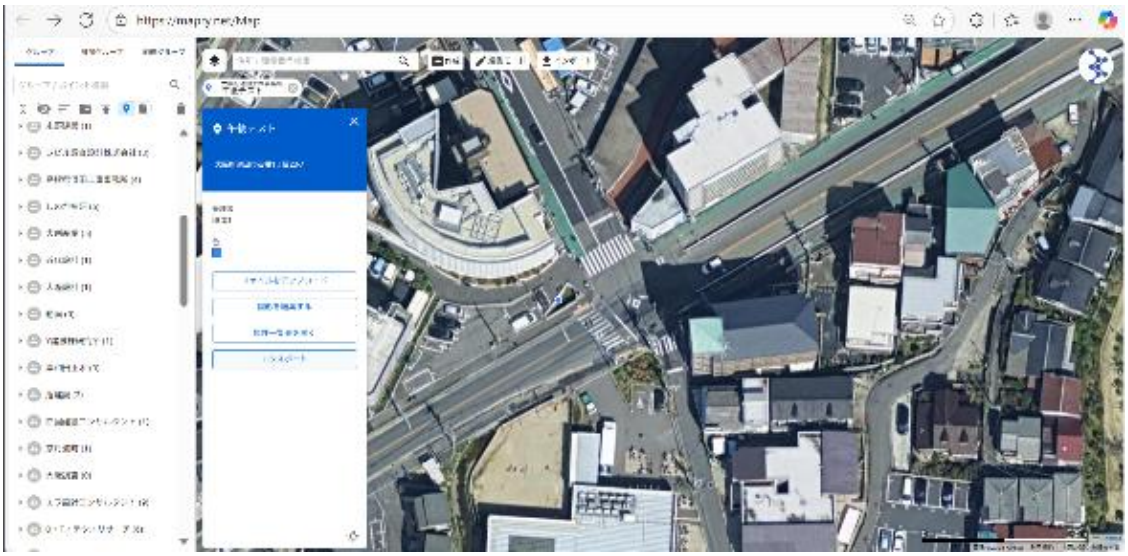


図 *12*　「*mapry GIS*」でのデータ選択画面

6.2　エクスポート開始

「エクスポート」から「API 連携」を選択します。

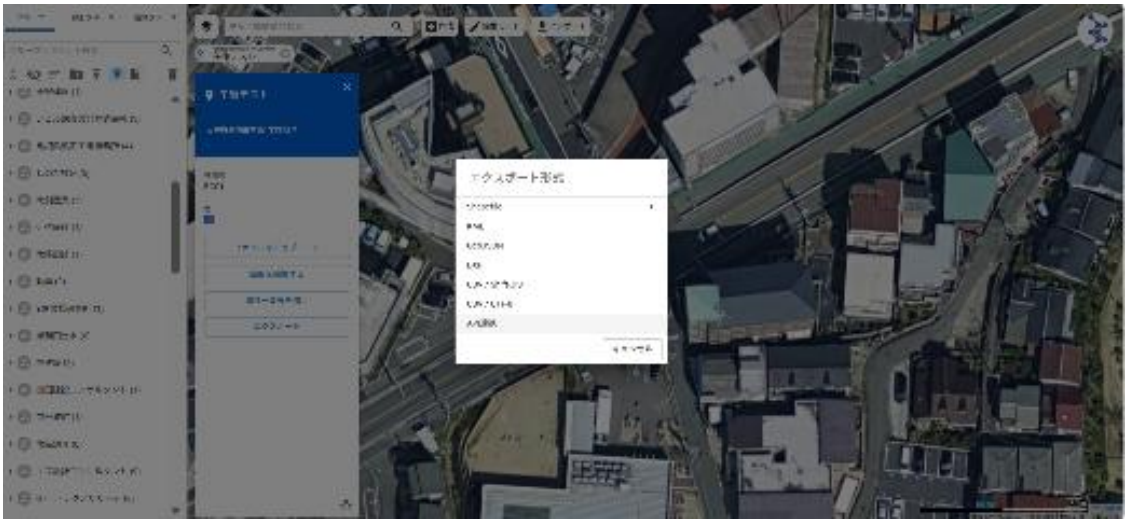


図 *13*　「エクスポート」から「*API* 連携」を選択

6.3　エクスポート完了

「エクスポートが完了しました」のメッセージが表示されれば、サポ楽「点検調書作成サービス」側へのデータ転送は完了です。

7. サポ楽「点検診断調書作成機能」で調書をまとめる

転送されたデータをもとに、サポ楽「調書作成」機能で点検診断調書を作成します。

7.1　調書作成一覧画面

「調書作成」タブでは、検索条件に合致した橋梁の一覧と、点検診断調書の作成・提出状況を確認できます。一覧の鉛筆アイコンから、対象橋梁の調書作成画面を開きます。

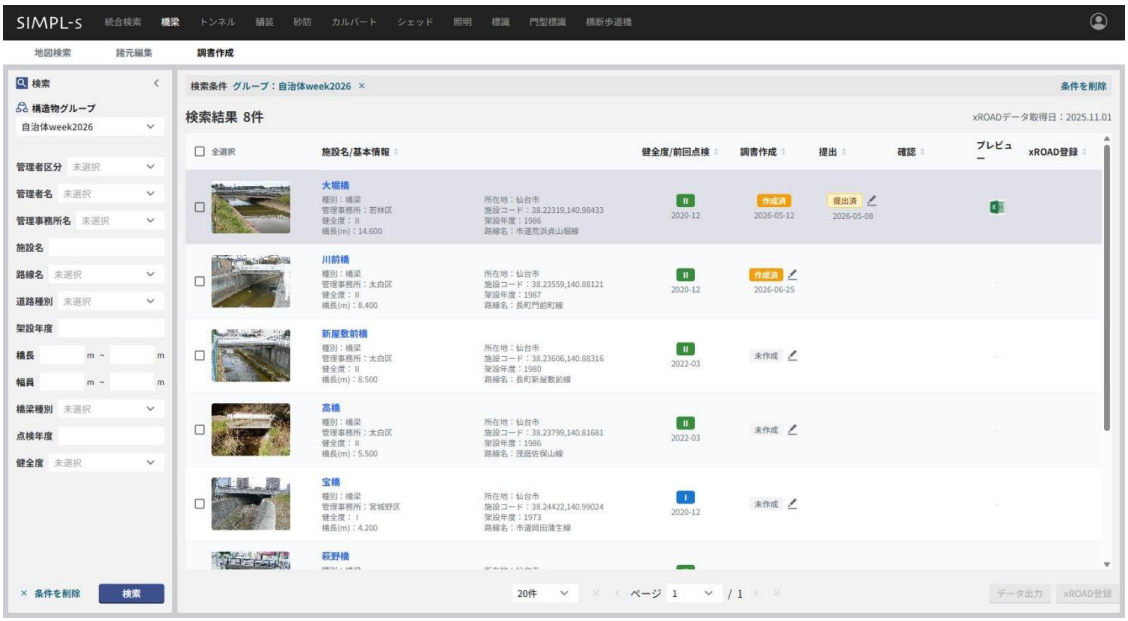


図 *14*　調書作成一覧画面

※ 一覧には施設名・所在地・管理事務所・健全度・前回点検年月に加え、調書作成／提出／確認／プレビュー／xROAD 登録の各ステータスが表示されます。

7.2　点検診断調書の作成画面

調書作成一覧画面で対象橋梁の鉛筆アイコンをクリックすると、「点検診断調書の作成」画面に遷移します。全景写真、橋梁諸元、状況写真・技術的な評価結果の各ブロックで構成されています。



図 *15*　点検診断調書の作成画面

※ 画面右下の「保存」「確認済」「提出を解除」「閉じる」の各ボタンで、調書のステータスを操作します。

7.2.1　写真の登録（写真管理パネル）

「登録する写真を選ぶ」リンクをクリックすると、画面右側に「写真管理」パネルが開きます。Mapry 橋梁アプリ等で取得した写真・3D データは、このパネルから調書へ貼り込みます。



図 *16*　写真管理パネル：施設写真タブ



図 *17*　写真管理パネル：写真タブ（個別にアップロードされた写真の一覧）

※ 写真タブでは、ファイル名・登録日ごとに一覧表示された写真をドラッグ＆ドロップで、調書左側の「写真番号」欄に貼り付けることができます。

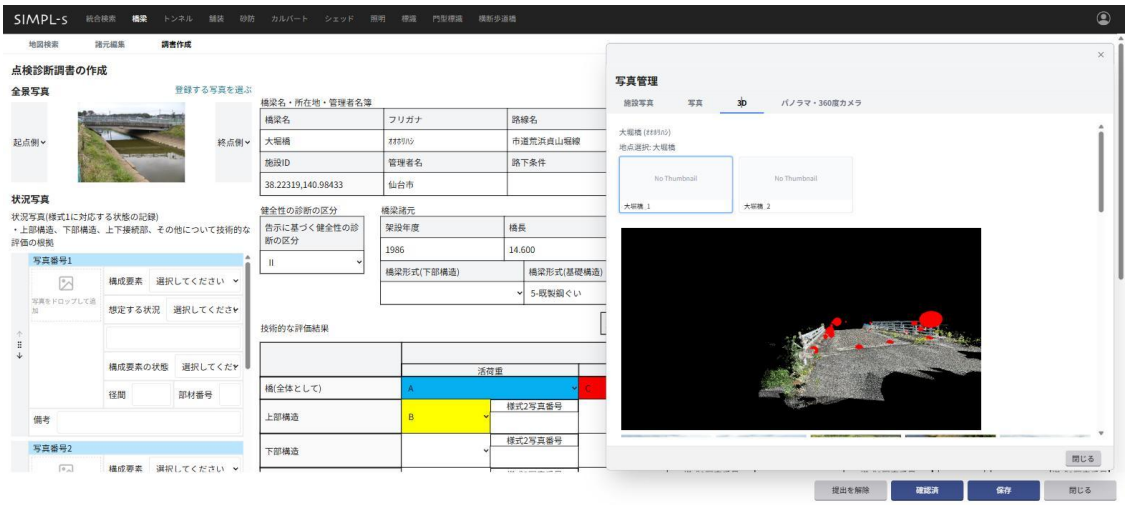


図 *18*　写真管理パネル：*3D* タブ（点群ビューア表示）

※ 3D タブでは、Mapry 橋梁アプリ等で取得した 3D 点群データをビューア上で確認できます。点群上の損傷ポイントに紐づく撮影写真をドラッグ＆ドロップで調書に貼り付け、必要事項を記入したうえで保存してください。

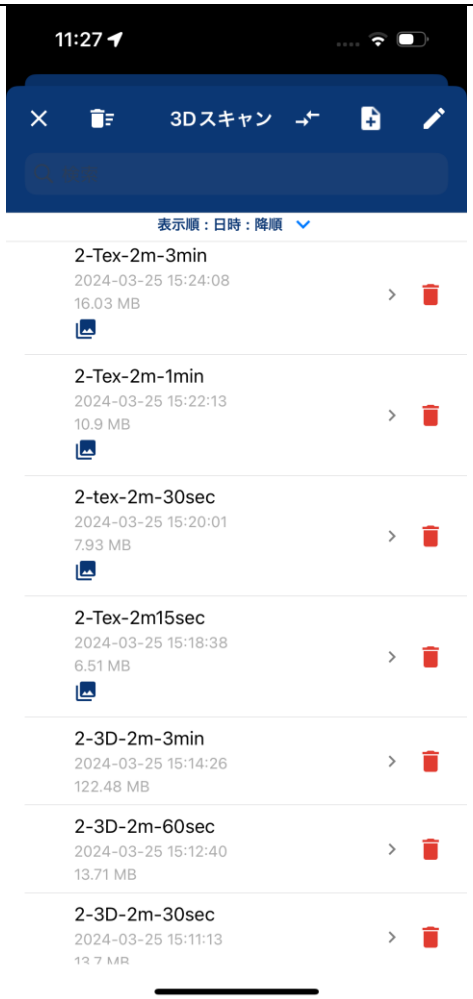
8. 参考：スマートフォン内データの保存・共有方法

Mapry 橋梁アプリで取得したスマートフォン内のデータを、指定の「ポイント」に保存・共有する手順です。

8.1　データの保存・共有開始、データの選択



①*TOP* 画面の「結果一覧」ボタンをタップ



②取得データ一覧から保存したいデータを選択

図 *19*　データの保存・共有開始、データの選択

8.2　データ保存・共有先選択

①画面右上のアイコンをタップして保存先を表示　②保存先を選択し「ポイントに保存」をタップ



図 *20*　データ保存・共有先選択

8.3　保存先ポイント・ポイント名確認、保存



①地図画面で登録したいポイントをタップ



②ポイント名を確認し「*OK*」をタップ

図 *21*　保存先ポイント・ポイント名確認、保存

9. お問い合わせ

操作方法に関するご不明点は、下記までお問い合わせください。

- E-mail：saporaku-contact@basisconsulting.co.jp
- Web サイト：https://basisconsulting.co.jp/help/

※ 本マニュアルは、既存資料（Mapry 橋梁とサポ楽を使った調書作成マニュアル／2025 年 10 月作成）をもとに、「サポ楽　施設台帳管理＋点検調書作成サービス（橋梁編）簡易操作マニュアル」の別冊として再構成した簡易版です。画面仕様は今後変更される可能性があります。